

『糸島市公共施設等総合管理計画』を策定

問い合わせ 糸島市財政課 ☎(332)2102 公式HPより [総合管理計画](#) 検索 

公共施設等の老朽化問題に 対応するため、計画策定

市では、今後、本格的に到来する公共施設等の老朽化問題に対応するため、「糸島市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画では次代を担う子どもたちの負担軽減を考慮しながら、将来にわたって必要な市民サービスの提供を続けるため、平成72年度までの44年間について、長期的な視点で市の方針を定めています。

老朽化が進む一方で 加速する少子高齢化

市内の学校や公民館、文化施設などの公共建築物は265(約29万㎡)。その多くは昭和50年代から建築されたもので、今後一斉に老朽化の進行が見込まれます。

一方、市の総人口は長期的には減少し、少子高齢化が進むことで、施設の利用状況が変化していくことが想定されます。ま

た、財政面では、市税や交付税などの減少、社会保障費の増加により、施設を保有するための経費確保が厳しくなっていく見込みです。

今後、維持費用が増大 年間約48億円に

計画策定に当たって「現在保有する公共建築物を今後も持ち続けると、年間いくら必要か」を推計しました。老朽化などに対応するため、維持費は現在の約36億円から約48億円に増大。このままでは現在の75%しか維持できないことが分かりました。

「44年間で公共建築物の 総面積を25%削減」の目標

本計画では、公共建築物の総延べ床面積を44年後に向けて、複合化や統廃合などで、およそ25%削減していくことを目標にしています。これは、費用推計と将来人口の展望などを併せて検討したもので、施設の総量を減ら

していくことで、本来に必要な施設を適切に維持するための費用を確保していくものです。

単に施設を減らすのではなく、まちの将来像を考えながら、地域性や住民ニーズを踏まえて、施設の組み合わせ(複合化など)により賢く利用することで、公共施設の総量を縮減していくことが必要です。今後は市民協働により、情報共有と実行計画の作成を進めていきます。今年度から出前講座も実施しますので、お気軽にお声掛けください。

なお、この計画は市ホームページ、市情報公開コーナーで閲覧できます。

～糸島市公共施設等総合管理計画～

◎基本理念

豊かな糸島生活を次世代に継承するための公共施設マネジメント
～未来の糸島へ向けた質・量・コストの最適化～

◎取組方針

- ①魅力向上・安全確保：質の確保
- ②コンパクト化：量の削減
- ③効率運営：コストの削減

～公共建築物の取り組み概要～

- ▶ 今後44年間で総延べ床面積を約25%削減し、将来コストを削減
- ▶ まちづくりの拠点として、適正な保全による魅力的で安全な整備運営
- ▶ 持続可能なまちづくりに向けて、機能集約化と有効活用により施設総量の抑制
- ▶ 維持管理業務の効率化、財政負担の平準化

～インフラ施設の取り組み概要～

- ▶ 適正な管理で安全確保
- ▶ 利用状況を勘案した計画的な整備
- ▶ 効率的な維持管理、修繕、更新、長寿命化

施設の複合により地域の元気が集まる 拠点施設形成のイメージ

